

留学報告書

記入日：2025年6月9日

| 基本情報 | |
|--------------------|---|
| 所属学部・学科 | 経営学部 学科 |
| 性別 | <input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 |
| 留学先国 | スペイン王国 |
| 留学期間 | 2024年 9月～ 2025年 5月 |
| 留学時の学年 | 3年生（渡航した時の学年） |
| 帰国年月日 | 2025年 6月 2日 |
| 明治大学卒業予定時期 | 2027年 3月 |
| 留学先大学について | |
| 大学名（英文・和文） | 英文：IE University 和文：IE 大学 |
| 所属学部またはコース名 | BBA / 経営学部 |
| キャンパスの所在地 | マドリード |
| 形態 | <input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他 |
| 学年暦（Academic Year） | 春学期： 9月～ 12月（期末試験期間：12月 ） 秋学期： 1月～ 5月（期末試験期間：5月 ） |
| 所属学部の学生数 | |
| 留学生の割合 | 80%（スペイン国外から来た学生数） |

| 留学にかかった費用 | | | |
|-----------|---------|------------|--|
| 項目 | 現地通貨（€） | 円 | 備考 |
| 授業料 | 0 | 0円 | <input checked="" type="checkbox"/> 交換留学のため、留学先への授業料免除 |
| 宿舍費 | 7,101€ | 1,160,000円 | 一ヶ月：789€、9か月分 相部屋・食事なし・学生寮 |
| 食費 | 2,250€ | 366,750円 | 一ヶ月：平均で250€ 毎食自炊し、時々友人との外食を行った。スーパー等は安いがお金がかかる。 |
| 通学費 | 72€ | 11,736円 | 一ヶ月：8€ 25歳以下はマドリードの公共交通機関が1か月8ユーロで使い放題である。 |
| 学校用品 | 0 | 0円 | 全てオンライン上で配布 |
| 教養・娯楽費 | 900€ | 146,700円 | 友人とパドルをしたり、美術館巡りなど |
| 被服費 | 100€ | 16,300円 | お土産にマドリードや大学のパーカーを買った程度 |
| 医療費 | 0 | 0円 | |
| 保険費 | | 202,840円 | 保険会社 inn insure: 660€ 東京海上日動火災保険（学校指定）：95260円 補償内容はほとんど同じであるが、明治大学から指定された保険と、ビザ取得のためにスペインの保険にも入らなければならない。 |

| | | | |
|---------|--------|-------------|--------------------------------|
| 渡航費 | | 178,504 円 | 往路：120,000 円 復路：58,504 円 |
| 旅行費 | 2,000€ | 326,000 円 | 留学中に旅した国：スペイン国内、スイス、モロッコ、イタリア |
| 語学学校 | | 0 円 | 授業料： 宿泊費： |
| 奨学金/助成金 | | 1,210,000 円 | 奨学金：910,000 円 助成金：300,000 円 |
| その他 | | 円 | |
| 合計 | | 1,198,830 円 | 全体から奨学金を差し引いた金額 |

渡航について

1) 航空券を購入した時期
 留学先へ出願後 入学許可書受領後 ビザ取得後 出発直前 その他 ()

2) どのように購入しましたか？
 Skyscanner で価格を比較し、最終的には公式サイトにて購入

3) 渡航経路を教えてください。
 (往路) 羽田空港－ ドバイ国際空港 (経由) － マドリード・バハラス空港
 (復路) マドリード・バハラス空港－ 成都空港 (経由) － 成田空港

4) 航空券代金
 利用航空会社： 往路 Emirates / 復路 四川航空
 往路： 120,000 円
 復路： 58,504 円
 合計： 178,504 円

5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。
 ・2024年の10月ごろからマドリードへの直行便が再び開通したと聞きました。
 ・ビザを取得する際に6月以降は非常に混雑するため、準備が出来次第早めの行動をとることをお勧めします。また、ホームページ上では提出書類をスペイン語に翻訳する必要がある等書いてありましたが、そのような必要はありませんでした。実際に大使館を訪れて聞いてみるのがベストだと思います。
 ・渡航日に関しては、授業が始まる1週間ほど前に到着するようにしました。

留学中の滞在先について

1) 種類 (留学中の滞在先)
 寮 アパート ホームステイ その他 ()

2) 部屋の形態
 個室 相部屋 (同居人数： 二人)

3) 住居の探し方
 留学先機関が斡旋 自分で探す

4) 大学までの利用交通機関と通学時間 (片道)
 利用交通機関 バス 電車 自転車 徒歩 その他 ()
 通学時間 (片道) 徒歩 10 分

5) 滞在中の食事について

| | |
|---|---|
| 【平日】 朝： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 () 昼： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 () | 【休日】 朝： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 () 昼： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 () |
|---|---|

| | |
|--|---|
| 晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他() | 晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他() |
| 6) 滞在先に関する総合的な感想 (これから留学する人のためのアドバイス) | |
| <p>・大学が斡旋する寮に住んでいたため、多くの交換留学生や IE 大学の一年生と関わることができました。</p> <p>・1年間交換留学をしている人は非常に少数です。半年住む分には良いのですが、スタッフの対応は悪く、家賃に関してもやや高めに設定されています。様々な留学生の話を聞きましたが、自分でシェアハウスを探すのが一番良いかなと思います。</p> | |
| 現地に関する情報 | |
| 1) 留学中は病院にかかりましたか? | |
| <input type="checkbox"/> はい (利用機関名:) <input checked="" type="checkbox"/> いいえ | |
| 2) 大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか? | |
| <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない | |
| 3) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか? | |
| 友人・IE大学の事務室 (留学生課は非常に親切でした) | |
| 4) 留学先大学に相談窓口はありましたか? | |
| <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない | |
| 5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか? | |
| 情報収集 | <input type="checkbox"/> 現地コーディネーター <input checked="" type="checkbox"/> 友人 <input type="checkbox"/> ネット (参考サイト:) <input type="checkbox"/> その他 () |
| 防犯対策 | 一年間を通して、危険を感じたことは一度もなかったです。しかし軽犯罪は多いので、貴重品は常に画板の奥に入れることを意識しました。 |
| 6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか? | |
| <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ | |
| 7) 6で「はい」と答えた方: その際どのように対処しましたか? | |
| | |
| 8) パソコン, 携帯電話, インターネットについて, 現地での利用状況はいかがでしたか? | |
| パソコン | ペーパーレスの学校であるためパソコンやタブレットは必需品でした。 |
| インターネット | 大学や寮にはwifiがあり、問題なく利用できました。 |
| 携帯電話 | 現地でSIMカードを購入 (vodaphone) 日本と比較して非常に安い (一カ月 50ギガで 10€) スペイン語の電話番号を求められることも多いので購入をお勧めします。 |
| 9) 現地での資金調達はどうに行いましたか? お勧めの方法があれば紹介して下さい。 | |
| <p>・支払いはSMBC銀行のPRESTIAのGLOBAL PASSを利用していました。口座内で日本円をユーロやその他の外貨に両替できるため、会計時に手数料がかかることはありませんでした。</p> <p>・それ以外に同様の機能を持つWISEも利用していました (デビットカード)。</p> | |
| 10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。 | |
| <p>・日本食スーパーもあるが非常に高価であるため、好きなカップ麺ややかんに入れられるようなティーパックをお勧めします。</p> <p>・調味料は現地で買えるものも非常に多かったため、持っていかなくてもいいと思います。</p> | |
| 進路について | |
| 1) 進路 | |
| <input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (帰国後に1年間休学して、就職活動を行う予定) | |

| | |
|---|------------------|
| 2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか？ | |
| | |
| 3) 就職を選択した方は、内定時期とその企業を選んだ理由を教えてください。 | |
| 内定時期 | |
| 企業名 | (差支えなければご記入ください) |
| 業界 | |
| その企業或いは業界を選んだ理由 | |
| 4) 就職活動について、留学希望者へ向けたアドバイスをお願いします。 | |
| | |
| 5) 進学を選択した方は、進学先が決定した時期とそこに決めた理由を教えてください。 | |
| 進学先決定時期 | |
| 進学先 | (差支えなければご記入ください) |
| その進学先を選んだ理由 | |
| 6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします (試験対策など)。 | |
| | |
| 7) その他を選択した方は、今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。 | |
| 一年間の留学を通して、私自身の価値観やキャリア観も大きく変わったためこのような選択をしてよかったと感じています。ボストン・ロンドンキャリアフォーラム等もあるが、学業との両立は非常に困難であると思います。 | |

留学に関するタイムチャート

| | |
|-----------------------------|--|
| 2023年7月～12月 募集要項公開～選考試験日 | <ul style="list-style-type: none"> ・8月に TOEFL のスコア取得+志望校の決定 ・9-12月応募書類の提出・面接 |
| 2024年1月～4月 合格発表後～出願準備期間 | <ul style="list-style-type: none"> ・4月に IE 大学への出願 ・IE 大学側から提供された資料を基に寮の決定 ・4月ごろからスペイン語の勉強開始 |
| 2024年4月～7月 出願後～渡航の準備 | <ul style="list-style-type: none"> ・5月学生ビザ取得のための書類集め ・6月の1週目に航空券の購入 ・6月末に履修登録 |

| | |
|---------------------------|--|
| 2024年8月 留学開始直前 | <ul style="list-style-type: none"> ・中旬に学生ビザの取得 ・デビットカードの作成 |
| 2024年9月 留学開始 | <ul style="list-style-type: none"> ・在留資格延長手続きを開始（10月の中旬には取得完了） ・毎週のようにある留学生向けのイベントへの参加 |
| 2024年10月～12月 留学中 | <ul style="list-style-type: none"> ・10月の下旬に中間試験 ・11月の1週目に休暇があったため、ほかの留学生と旅行 ・12月の1週目から期末試験・プレゼン・レポート提出 |
| 2025年1月～5月 留学中（或いは帰国後） | <ul style="list-style-type: none"> ・冬休みは約2週間あり、その間に友人とヨーロッパ旅行 ・秋学期と同様に3月上旬に中間テスト5月の中旬に期末テスト ・4月の中旬には1週間程度のイースター休暇があり、再び友人と旅行に行った。 |
| 2025年6月 留学後 | 予定通り、1年卒業を遅らせて就職活動の開始 |

留学体験記

| | |
|---|--|
| あなたが「留学」という道を選択した理由を教えてください。 | |
| 私は、自分自身が今いる環境に満足しやすい性格であると感じていたため、意図的に外部からの刺激を得る必要があると考え、大学入学時から留学を決意していました。また、新しい価値観や考え方に触れるきっかけは、いつも人との出会いを通じて得てきました。そのため、これまでとは異なる環境に身を置き、多様な背景を持つ人々と交流することで、自分自身の新たな一面に出会えると信じて留学を決めました。さらに、長期的に見て大きなリスクを負わずに海外経験を積めるのは、学生時代だけだと感じていたことも、留学を志した理由の一つです。 | |
| 語学について | |
| 受験した語学能力試験 | <input checked="" type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input checked="" type="checkbox"/> TOEIC <input type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> その他（試験名： ） |
| ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法 | 1年次から GREAT クラスへの参加・問題集の数をこなすこと・ |
| 総合的なアドバイス | 留学先の授業を考えた際、講義スタイルの授業はほとんどなく、ディスカッションが全てのクラスで求められたことからスピーキングは特に大切であると感じます。また自分の考えをしっかりと英語で表現できることも、GREAT を通じて培われたなと思います。 |
| この留学先を選んだ理由を教えてください。 | |
| もともと、一定程度の英語力には自信があったため、自身の限界を試す意味でも、あえて生活圏が英語圏ではない環境を選びたいと考えていました。その中で、IE 大学はビジネススクールから派生して設立された大学であり、将来的に MBA の取得も視野に入れている私にとって非常に魅力的でした。実際に、IE ビジネススクールと同じ教授陣による授業を受けられるほか、MBA の学生とも交流できる機会が | |

| | |
|--|---|
| ある点が、大きな決め手となりました。 | |
| 大学（キャンパス）と学生の雰囲気をお教えてください。 | |
| 大学（キャンパス） | <p>キャンパスはマドリードのビジネス街に位置しており、建物は非常に先進的で洗練されたデザインです。自習スペースも豊富に用意されており、ネット環境も非常に整っていて快適に学習できました。ビジネススクールとしての特色も強く、AV 機器や VR 機器など、最先端のテクノロジーが整備されている点が印象的でした。教授陣の多くは、教育のみにとどまらず実際にビジネスを展開している方が多く、授業内容も非常に実践的でした。また、今年は AI 分野において大きな進展があり、IE 大学は他校に先駆けて OpenAI と提携し、学生に対して無償で提供していました。</p> <p>ジムやプールも設置されていましたが、設備は比較的小規模でした。</p> |
| 学生 | <p>学生は非常に多様な国籍を持っており、逆にスペイン人の学生はキャンパス内ではあまり見かけないほどでした。特にヨーロッパ各国からの学生が多く、多くの学生が 3~4 か国語を話すマルチリンガルでした。アジア人の学生はごく少数であり、英語を学びに来ているというよりも、すでに高い英語力を持った学生ばかりで、英語が話せない学生はいませんでした。</p> |
| 現地での交友関係について教えてください。 | |
| 正規学生との交流 | <p>正規学生とは、必修科目を選択することで出会う機会がありました。ただし、学部によっては大学 1 年次から同じメンバーでクラスを組み、複数の科目をそのクラス単位で受講しているため、すでにグループが形成されており、途中から入り込むのはやや難しさを感じました。また、イベントなどに積極的に参加する正規学生の割合は少なく、交流の機会は限られていたように思います。なお、日本人学生は全学部・全学年を通して 6 人ほどしかおらず、非常に少数でした。</p> |
| 留学生との交流 | <p>交換留学生同士の交流は非常に活発で、多様なイベントが定期的に行われていることから、出会いの場に困ることはありませんでした。多くの学生がオープンマインドで接してくれるため、すぐに打ち解けることができました。また、大半の交換留学生が選択科目 (electives) を履修していたこともあり、授業を通じた自然な交流が生まれやすかったです。</p> |
| 留学先大学主催のイベントについて教えてください。 | |
| <p>大学の初週からさまざまなイベントが開催されており、キャンパスの中庭ではウェルカムパーティーが開かれ、地下では音楽ステージも設けられていました。また、大学主催でマドリード市内の大きな公園でのピクニックや飲み会といった交流イベントも複数開催され、学生同士のつながりを深める機会が多く用意されていました。私は参加しませんでした。モロッコへの旅行といった大規模な課外イベントも企画されており、非常に充実した内容だと感じました。</p> | |
| 課外活動について教えてください。 | |
| <p>私は運動が好きなおも、他の交換留学生とよくパデルを楽しんでいました。コートのレンタルは 1 時間あたり約 10 ユーロで、参加者同士で割り勘することで、比較的安価に日常的な運動をすることができました。また、長期休暇中にはスペイン国内やヨーロッパ各国を友人と旅行し、異なる文化や土地に触れる貴重な経験を積むことができました。</p> | |
| 一日の課題の量を教えてください。 | |
| <p>時期にもよりますが、試験期間を除けば、課題にかかる時間は 1 日あたりおよそ 1 時間半程度でした。教授陣は AI などのツールを活用して学習を進めることを前提としており、単なる課題提出だけでなく、ケーススタディをしっかりと理解しておくことや、グループワークを計画的に進めておくことも求められました。そのため、量以上に「質」や準備の深さが問われる印象でした。</p> | |

期末試験について教えてください。

どの科目においても、必ずグループワークが課されており、チームでのプレゼンテーションやレポートの提出が求められました。そのため、個人のみだけでなく、チームワークが期末の大変な時期を乗り越えるうえで非常に重要な要素となっていました。試験はすべて教室内でパソコンを用いて実施され、ほとんどの科目において、選択式の問題とケーススタディ形式の記述問題が組み合わされた構成でした。

留学先で直面した困難（壁）について教えてください。

学業面では、グループワークが非常に多く、個人の努力だけではどうにもならない場面が多々ありました。だからこそ、人に頼ることの大切さを学び、しっかりと役割分担を行いながら、わからないことは素直に助けをを求める姿勢を大切にしていきました。また、交換留学生の中でも、最初は自分と同じ国籍や共通の言語を持つ学生同士で固まる傾向がありました。私の場合、日本人留学生は自分ひとりだったため、当初は少し孤独を感じることもありましたが、しかし、2週目になる頃にはよく話す友人も増え、自然と不安は解消されていきました。その経験から、自ら積極的に行動を起こすことの大切さを実感しました。また、これはどの国でも共通することだと思いますが、日本では「察する」文化がある一方で、海外では言葉にして伝えなければ伝わらないことが多くあります。そのため、相手にしっかりと言葉で伝えることの重要性も改めて実感しました。

これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。

留学を志す理由は、人それぞれで良いと思います。英語を学びたい、何か新しい知識や経験を得たい、自分を変えたい。どんな動機でも、その一歩を踏み出すことに大きな意味があると感じています。私自身が留学を決意した理由の一つに、「自分の知らない一面に出会いたい」という思いがありました。そして実際に、異なるタイプの人やまったく違う環境に身を置くことで、初めて見えてくる自分の姿がありました。特に学生という比較的自由な時間がある今だからこそ、長期で全く異なる文化の中で生活する経験は、今後の人生にとって非常に価値のあるものになると思います。また、留学は自分自身と向き合い、自分を見つめ直す良い機会にもなります。私は留学前には、IE 大学に行った先輩から話を聞き、多くの情報を得てとても助けられました。ですので、もし IE への留学を検討している方がいらっしゃれば、どうぞ遠慮なくご連絡ください。

留学先で履修した授業科目

記入日： 2026年6月1日

学習レポート（留学先で履修した科目ごとに記入してください）

| | |
|--|---|
| 1) 留学先 | IE University |
| 2) 留学先で取得した単位数 | 42 ECTS |
| 3) 本学で認定された単位数 | <input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 現在単位認定中（認定予定の単位数： 24） <input type="checkbox"/> 単位認定はしません （理由： ） |
| 4) 留学先で履修した科目について | |
| 履修した授業科目名① | |
| Strategies for Competing in Industries and Markets | |
| 科目設置学部 | BBA |
| 履修期間 | 秋学期 |
| 留学先の単位数 | 5 |
| 帰国後の単位認定 | <input checked="" type="checkbox"/> 4 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Ricardo Lopez Perez |
| 授業内容 | 経営戦略の基礎について網羅的に学びながら、各テーマをケーススタディと照らし合わせて理解を深めていく。 |
| 試験・課題など | 中間試験と期末試験の2回の試験がある。問題形式は選択問題と記述問題が中心で、内容自体はそれほど難しくない。しかし、履修範囲が非常に広いため、早めに勉強を始める必要がある。また、学期の初めに約10人のグループと3人のグループの2種類に分かれ、定期的にグループごとの課題やプレゼンテーションが課される。これらも成績に大きく影響するため、継続的に取り組むことが重要である。 |
| 感想を自由記入 | 授業内容自体は、明治大学で学ぶ経営戦略の授業と同様に基礎的な内容が多く、特別難しいわけではない。既に知っている内容も多いと思うが、英語での表現や専門用語を学ぶことができるため、1学期目に受講することで良い基礎固めになったと感じており、おすすめできる授業である。一方で、この授業は正規学生にとって必修科目であり、クラスメイト同士は他の授業でも一緒であるため、既にグループが形成されていた。そのため、最初はクラスに馴染むまでに少し時間がかかった。 |
| 履修した授業科目名② | |
| Basic Excel for Management | |
| 科目設置学部 | BBA |
| 履修期間 | 春学期 |
| 留学先の単位数 | 4 |
| 帰国後の単位認定 | <input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週1回 |
| 担当教授 | Guillermo Alonso Rodriguez |
| 授業内容 | Excelの基本的な使い方を学び、その都度課題に取り組みながら理解を深め、最終的にはExcelを用いたデータ分析を行う。 |

| | |
|--|--|
| 試験・課題など | 合計で4回のテストが実施される。ただし、いずれも直近で学んだ内容を活かして解く形式であるため、しっかり準備をしていれば特に難しくはない。また、3人程度のチームを組み、最終的には自らデータを収集・分析した上で、プレゼンテーションを行う課題が課される。 |
| 感想を自由記入 | 授業は基本的に講義形式で進行し、先生やクラスメイトとの会話が活発に生まれるような環境ではなかった。また、初級クラスということもあり、内容の大半は既に知っているものであったため、全体的に比較的簡単に感じた。 |
| 履修した授業科目名③ | |
| Advertising & Creative Strategies | |
| 科目設置学部 | BBA |
| 履修期間 | 春学期 |
| 留学先の単位数 | 3 |
| 帰国後の単位認定 | <input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回80分の授業が週1回 |
| 担当教授 | Peter Thomas Boland |
| 授業内容 | 広告戦略について、半分は座学を通じて基礎知識を学び、もう半分は実在するブランドの戦略を題材にケーススタディを行う。 |
| 試験・課題など | 筆記試験のようなものは実施されない。代わりに、チームで「Happy Socks」という靴下ブランドを題材に、ブランド分析や広告戦略について一学期間を通して考え、最終的にプレゼンテーションを行う。また、個人課題として、コカ・コーラのクリスマス広告に関するレポートを提出する必要がある。 |
| 感想を自由記入 | この科目は、正規学生と交換留学生の割合が半々程度であった印象がある。授業では座学よりもワークの時間が非常に多く設けられており、自分の意見やアイデアを積極的にアウトプットする力が求められた。その分大変さもあったが、実践的で非常に面白い授業だった。 |
| 履修した授業科目名④ | |
| Sustainability Through Supply Chain Management | |
| 科目設置学部 | BBA |
| 履修期間 | 春学期 |
| 留学先の単位数 | 3 |
| 帰国後の単位認定 | <input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回80分の授業が週1回 |
| 担当教授 | Lea Ruesch |
| 授業内容 | 国際的なサプライチェーンの中で、どのように持続可能なバリューチェーンを構築していくかについて学ぶ授業である。 |
| 試験・課題など | テストは一切なく、授業はディスカッションを中心に進行する。そのため、授業内での発言回数や発言の質が非常に重視されている。また、5~6人のチームで最終プレゼンテーションも行い、この内容も授業参加と同じくらい重要な評価対象となっている。 |
| 感想を自由記入 | 非常にコミュニケーション能力が求められる科目の一つであった。サプライチェーンマネジメントの事例として日本企業が取り上げられることも多く、唯一の日本人だった私は何度も意見を求められた。そのおかげで自然と発言や会話の機会が増えたと感じている。一方で、他の学生も積極的に意見を求められるため、授業内容をしっかり理解しながら参加していないと置いていかれてしまう部分もあった。しかし、その分非常に刺激的で面白い授業だった。また、教授が独自のケーススタディを数多く用意してくれていた点も印象的だった。 |
| 履修した授業科目名⑤ | |
| Multinational Corporations: Current Trends, Economic Determinants & Strategies | |

| | |
|----------|---|
| 科目設置学部 | BBA |
| 履修期間 | 秋学期 |
| 留学先の単位数 | 3 |
| 帰国後の単位認定 | <input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回80分の授業が週1回 |
| 担当教授 | Rodrigo Alegria Huerta |
| 授業内容 | 経済や地政学の観点から、国際企業がどのようなビジネス戦略を取るのかについて学び、実際の事例をもとに分析を行う授業である。 |
| 試験・課題など | 成績には、選択問題と記述問題を組み合わせた期末試験が大きく反映される。また、3~4人のチームが生まれ、3回の授業ごとに企業分析やレポート作成などの課題が与えられた。授業外でのチーム活動も比較的多く求められる。 |
| 感想を自由記入 | これまであまり学んだことのない分野であったことに加え、専門用語や語彙も難しく、内容を理解することにかかなり苦労した。一方で、試験自体はそこまで難易度が高いわけではなく、しっかり勉強していれば十分に単位を取得できると感じた。授業スタイルとしては、比較的一方的な講義形式で進められる珍しいタイプの授業であった。また、チームごとの課題は想像以上に負担が大きく、授業外での作業時間も多くなった。 |

履修した授業科目名⑥

Service Design: Good Design is Good Business

| | |
|----------|--|
| 科目設置学部 | BBA |
| 履修期間 | 秋学期 |
| 留学先の単位数 | 6 |
| 帰国後の単位認定 | <input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Knu Kim |
| 授業内容 | デザインシンキングを用いながら、さまざまな手法を通じてビジネスへのインパクトの生み出し方について学ぶ授業である。 |
| 試験・課題など | 主に、テスト、最終プレゼンテーション、課題提出、授業への貢献度の4項目によって評価される。テスト自体は非常に容易である一方、授業内でどれだけ積極的に発言し、議論に参加しているかも重視されている。また、課題提出の頻度も比較的多いが、その多くはグループワークの一環として行われる。 |
| 感想を自由記入 | 非常におすすめできる科目である。教授自身がデザインやブランディングの実務経験を持っており、過去に自身が関わったプロジェクトと結びつけながら授業を進めてくれるため、非常に興味深かった。また、非常に実践的な授業でもあり、チームごとにターゲットとなるビジネスを自ら設定し、実際にインタビューを行いながら課題発見を進めていく。その過程で、インタビュー手法や顧客インサイトの見つけ方、購買行動の分析などについても学び、それらをもとに新たなビジネス案を構築・提案する。実践を通じて多くの学びを得ることができ、とても面白い授業だった。 |

履修した授業科目名⑦

Creative Management and Content Strategy

| | |
|----------|--|
| 科目設置学部 | BBA |
| 履修期間 | 秋学期 |
| 留学先の単位数 | 3 |
| 帰国後の単位認定 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |

| | |
|---------|--|
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回80分の授業が週1回 |
| 担当教授 | Brian Greenfield Hallett Scoville |
| 授業内容 | 広告・コンテンツ戦略について実践的に学ぶ科目である。興味のある業界や企業を題材に、ブランド戦略やクリエイティブ戦略を考えながら、広告表現やコンテンツ企画について学んでいく。 |
| 試験・課題など | 試験のようなものではなく、個人ワークとグループワークを中心に評価される。個人課題では、自分の好きなブランドを選定し、そのブランド分析を行った上で発表を行う。また、ブランドアンバサダーになりきり、Instagramのアカウントを作成し、1週間毎日3投稿を行うといったユニークな課題も課される。さらに、グループワークでも好きなブランドを題材にブランド分析を行い、そのブランドに適した広告制作やコンテンツ提案を行う。 |
| 感想を自由記入 | 非常に魅力的でおすすめできる授業である。教授自身が元カメラマンという特殊なキャリアを持っており、ブランド理解だけでなく、コンテンツ制作に必要な写真の撮り方について学ぶ機会もあったため、非常に実践的だった。また、実際にブランドアンバサダーになりきって毎日投稿を続けるなど、他の授業にはない特徴的な活動も多く、課題量としては大変な部分もあった。しかし、その分、学んだ内容を実際にアウトプットできている感覚があり、授業内容への理解もより深まったと感じている。 |

履修した授業科目名⑧

Digital Marketing and Analytics

| | |
|----------|---|
| 科目設置学部 | BBA |
| 履修期間 | 春学期 |
| 留学先の単位数 | 6 |
| 帰国後の単位認定 | <input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Pierre Auger |
| 授業内容 | デジタルマーケティングの基礎を学ぶ授業である。インターネットの仕組みやweb広告などデジタル時代におけるマーケティング戦略について実践的に学ぶ科目である。 |
| 試験・課題など | 中間試験と期末試験の2回の試験が実施される。試験範囲は非常に広いものの、しっかりと勉強していれば十分に対応できる内容である。特に記述問題の比重が大きく、ケース問題に対してどのような施策を取るべきかを考えたり、自分なりの分析や意見を論理的に記述したりすることが求められる。また、10人程度のグループにも分けられ、授業内容に関連したプレゼンテーションを定期的に行う。これらのグループワークも成績評価において重要な要素となっている。 |
| 感想を自由記入 | この科目も正規学生にとっては必修科目であり、多くの学生が既に友人関係やグループを形成しているため、交換留学生にとっては最初に馴染むまで少し時間がかかるかもしれない。内容としてはデジタルマーケティング領域に特化した授業ではあるものの、他のマーケティング系科目と重複する部分も多く、全体としては似た内容を扱っていると感じた。 |

履修した授業科目名⑨

How Big Companies Use Startups to Innovate: M&A and Venture Buildings

| | |
|----------|--|
| 科目設置学部 | BBA |
| 履修期間 | 春学期 |
| 留学先の単位数 | 3 |
| 帰国後の単位認定 | <input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回80分の授業が週1回 |
| 担当教授 | Paris de L' Etraz |

| | |
|---------|---|
| 授業内容 | 大企業が新規事業創出やスタートアップ買収を通じてどのようにイノベーションを実現するのかを学び、インナー・オープンイノベーションについて学びを深める。 |
| 試験・課題など | 試験は期末試験の1回のみであり、内容も基礎的な知識を問うものが中心である。そのため、成績の大部分は最終プレゼンテーションによって決定される。最終プレゼンテーションでは、自ら特定の企業を選定し、その企業が抱える課題を分析した上で、インナーイノベーション（社内での新規事業創出）とオープンイノベーション（M&A や提携など）のどちらを選択すべきかを提案することが求められる。単なるアイデア提案ではなく、財務面の分析や実際の M&A 戦略まで踏み込んだ詳細な検討が必要であり、非常に高度な内容となっている。さらに、最終発表の審査員には教授のネットワークを通じて招かれた経営者や実務家が参加するため、実践的かつ難易度の高いプレゼンテーションであった。 |
| 感想を自由記入 | これまで受講した科目の中で最も難しい授業だったが、その分、実際の M&A や企業買収の世界を深く知ることができる非常に興味深い科目であった。教授自身も VC ファンドの運営や起業など多様な経験を持っており、授業では理論だけでなく、自身が実際に関わっている M&A 案件や企業投資の事例についても話してくれるため、非常に実践的で学びが多かった。また、受講している学生のレベルも高く、自ら事業を運営している学生や、ビジネスに関する豊富な知識を持つ学生も多かった。そのため、授業内の議論から得られる学びも大きく、ビジネスやイノベーションについて本気で学びたい人にはぜひおすすめしたい科目である。 |

履修した授業科目名⑩

Entrepreneurship in the Age of Generative AI

| | |
|----------|---|
| 科目設置学部 | BBA |
| 履修期間 | 春学期 |
| 留学先の単位数 | 3 |
| 帰国後の単位認定 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1 回 80 分の授業が週 1 回 |
| 担当教授 | Diego Soroa Rodriguez Escudero |
| 授業内容 | 生成 AI がどのように新しいビジネスモデルを生み出し、業界を変革し、起業の機会を創出しているのかを学ぶ。実際に AI ツールを活用しながら新規事業アイデアを考え、AI 活用の実践力を身に着けるとともに、倫理的・社会的な課題についても理解を深める。 |
| 試験・課題など | 試験は実施されず、グループプレゼンテーションと個人課題によって評価される。グループワークでは、AI を活用した新たなビジネスモデルの立案が求められる。チームで市場や課題を分析しながら、AI の特性を活かした事業アイデアを構築し、最終的にプレゼンテーションを行う。また、個人課題も毎回の授業内容に合わせて課されるが、内容は授業をしっかり理解していれば対応できるものであり、特別難易度が高いわけではない。 |
| 感想を自由記入 | AI が今後のビジネスにおいて中核的な存在になっていくことを強く実感できる、非常に魅力的な授業であった。毎回の授業では、最初の 30 分ほどを使ってその週の AI 関連ニュースについて議論する時間が設けられていた。AI 業界の変化のスピードは非常に速く、毎週異なるトピックが取り上げられるほど進化が目まぐるしかったことが印象的である。また、この授業では事前に作り込まれた固定的な教材を使うのではなく、その時点での最新情報を積極的に取り上げていた。そのため、教科書では学べないリアルタイムの業界動向に触れることができた。さらに、実際に AI 業界で活躍するゲストスピーカーが登壇する機会もあり、実務的な視点から話を聞くことができたため、非常に学びの多い科目だった。 |

履修した授業科目名⑪

Espanol Basico 1

| | |
|----------|--|
| 科目設置学部 | Language center |
| 履修期間 | 秋学期 |
| 留学先の単位数 | 3 |
| 帰国後の単位認定 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1 回 80 分の授業が週 2 回 |

| | |
|---------|---|
| 担当教授 | Flor de Lourdes Gragera de Leon Cantero |
| 授業内容 | 基礎的なスペイン語文法と会話 |
| 試験・課題など | 毎週課題が課され、その内容について次回の授業の冒頭で答え合わせを行う形式で進められる。そのため、継続的に授業内容を復習しながら学習を進めることが求められる。また、学期中には振り返りを目的とした試験が2回実施される。さらに、期末試験では学期を通じて学んだ内容全体の復習に加え、口頭試験も行われるため、知識の理解だけでなく、自分の言葉で説明できる力も求められる。 |
| 感想を自由記入 | 街中では英語がほとんど通じないため、スペイン語を話せない私にとっては、実生活の中でスペイン語を使う良い練習の機会となった。また、クラス分けは留学前に実施されるテストの結果に基づいて自動的に行われるため、自分のレベルに合った授業を受けることができる。受講者も同じ交換留学生が中心であったため、友人を作る良い機会にもなった。一方で、授業はすべてオンライン形式で実施されていたため、対面での交流が少なかった点は少し残念に感じた。 |